

安倍晋三元首相の後援会が「桜を見る会」前夜祭の費用を補填していた問題で、東京地檢特捜部は昨年末、安倍氏を呼び不起訴（嫌疑不十分）にしました。検察審査会の「不起訴不当」の議決（昨年7月）を受けた馬鹿晝は終わらました。しかし、安倍氏の国政私物化の姿勢である「桜を見る会」疑惑は数多くが未解明のままです。隠されてしまうわけにはいきません。詫問責任を果たさない安倍氏の逃げを許さず、国を守るためにもが必要です。解明に後ろ向きの岸田文雄首相の姿勢も問われます。

主張

の後援会が補填した公職選舉法違反（寄付行為の禁止）の疑いが問題になりました。東京地検特捜部は2020年末、後援会が4年間で計約700万円を補填したこと、政治資金収支報告書に記載しなかつたとの違法性を認め、後援会代表の元秘書を略式起訴しました。

## 安倍元首相の

「いよいよ」なればその辯弁を一  
度示すまでもない。最も根本的な反  
省を示すまでもない。

市民で構成する検察審査会が  
「不起訴不当」を議決したのも、  
安堵感の面に分にはあまりにも無  
理があるのです。審査会が「總  
理大臣であった者が、秘書がやつ  
て公的行事「桜を見る会」に選舉  
区の山口県から来賓者の大半を  
招待し、飲ませ食わせること」に  
体、税金を使った國  
私物化を意味したこと  
だといふより軽くして認定したことには、到底認めません。

「いらない」などの他のものと併用を一  
度回むつた上りとも根本的な取  
得を失しませんでした。

市田や構成する検察審査会が  
「不起訴不当」を認定したのも、  
安倍氏の面に分はれあはりとも無  
理があなためです。検査会が「總  
理大臣であった者が、秘書がやり

だすことなく而して閑知したこと  
う疑惑は国民感情にして終結でき  
ない」と指摘したのは当然です。

検察は再び不起訴にした検査結  
果の詳細を説明してしません。疑  
惑を追及する法律家からは「おそ  
んな再検査」と批判が上がりて  
こまか。安倍氏は、前夜祭の会場  
でいます。疑惑に頬からりし続け

の逃げを許さない

だらじょだらじょで闇知したこと  
うればではござん。

安倍氏は不起訴につづいて「敵正  
な検査の結果」を公表メントを出し  
ただけです。安倍氏は経済後、  
国民党最大派閥の会長になつた  
体、税金を使った闇

にされたボトルの明細書や領収書  
の提出などもござりません。

補填の費用をひきかねて出しな  
のかも不明です。疑惑はこうして  
深まつておる。

公的行事「桜を見る会」に疑惑  
区の山口県からも検査の人大幅に  
招待し、飲ませ食わせむるに御

收取の疑いがあります  
か。首相による国政  
私物化を慶昧にすれば

の安倍氏を復讐せむの田原鏡の姿勢は盛大です。岸田首相は忖度をやめるべきです。国会での安倍氏の辞職問題は不可欠です。